

【様式】

令和8年度 学校マネジメントシート

学校名( 三重県立鳥羽高等学校 )

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿		これからの地域社会をささえる若者が育ち合う学校 ～子どもたちが地域の中で生き生きと活躍し、自信と誇りを持って成長する～
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	1. 地域の中で生き生きと活躍し、自信と誇りを持って成長する鳥羽高生 2. 進路実現に向け、 <b>基礎的・総合的な学力</b> を身につけた鳥羽高生 3. 社会的・職業的自立に向け、必要な <b>規範意識と態度</b> を身につけた鳥羽高生 4. これからの社会で活躍するための「7つの力」を身につけた鳥羽高生 ① 行動力 ② 思考力 ③ コミュニケーション能力 ④ 創造力 ⑤ 表現力 ⑥ 自己肯定感 ⑦ 自己管理能力
	ありたい教職員の姿	1. 生徒が社会で活躍できるように、学校で必要な能力を育む。また、生徒が安全・安心して学校で過ごせるために、生徒の変化を見逃さず、その状況を情報共有できる組織的な教職員集団 2. 授業を大切に、基礎学力の定着・向上に取り組むとともに、特色である地域学習や体験的活動を通して総合的な学力を育むことに前向きな教職員 3. コンプライアンスを遵守し、地域社会の一員として豊かな社会性を身につけた、信頼される教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>&lt;生徒&gt; 高校生活の充実(進路実現のために必要な学力・部活動・仲間づくり)</p> <p>&lt;保護者等&gt; 進路希望の実現、社会で生きて行く力の育成、安全で安心して学べる楽しい学校</p> <p>&lt;地域&gt; 魅力的な学校運営、観光・防災等の地域の活性化への貢献、生徒の健全育成</p> <p>&lt;企業・大学等の進路先&gt; 社会的・職業的自立に必要な生徒の学力と規範意識の醸成</p>	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>&lt;保護者等&gt; 子どもの進路実現と安全・安心な環境</p> <p>&lt;中学校&gt; 生徒の進路保障、中高連携の推進</p> <p>&lt;地域&gt; 地域社会の活性化、地域枠を活用した三重大学進学</p> <p>&lt;企業・大学等&gt; 基礎学力の定着・向上、基本的生活習慣の確立</p>	<p>&lt;保護者等&gt; 本校の教育方針への理解と生徒を育てるための連携・協力</p> <p>&lt;中学校&gt; 高校生活を円滑に進めるための情報提供、中高連携の推進</p> <p>&lt;地域&gt; 地域学習活動の機会・題材・人材の提供、生徒の健全育成活動での連携・協力</p> <p>&lt;企業・大学等&gt; キャリア教育や地域学習等の題材・人材・学びの場の提供</p>

<p>(3)前年度の学校関係者評価など</p>		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 鳥羽市内の企業への就職増加に寄与している地域学習の継続的な取り組みは、生徒の力を伸ばす上で非常に効果的であり、今後も良い成果が期待される。今後は中学校への情報発信や出前授業を計画的に実施し、さらに大人だけでなく小学生・中学生との交流を重視する視点が必要である。答志中学校等の商品開発活動の取組と連携・協力し、地域全体で広げていく形を模索してはどうか。また、アンケートの否定的な意見には積極的に対応し、小規模校の特徴を活かした生徒指導や学習指導の継続を求める。</li> <li>2. 自己肯定感を高める施策として、自分自身の成長や変化を発信する活動を促進することが有効である。総合学科による体験活動の増加はよい成果を上げているが、自ら情報を取りに行くことが少ない鳥羽市民にも伝わるよう、学校側から積極的に情報発信することが重要である。インスタグラム等のSNSだけでは情報が届きにくいいため、鳥羽マルシェなど目につきやすい場所へのペーパー設置など、工夫した情報発信が必要と考える。今後はこれらの改善課題を踏まえ、計画的かつ効果的な取り組みを進め、生徒の自己肯定感の向上、進路実績の更なる向上を目指していただきたい。</li> </ol>
<p>(4)現状と課題</p>	<p>教育活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1年次の「起業体験プログラム」をはじめ2.3年次の探究学習は、生徒の成長にとっても効果が高かった。また地域の学校等の交流は、生徒一人ひとりを輝かせ、生き生きとした姿が見られた。一方で教員がその準備・調整等に係る時間・負担が増加しているため、生徒の主体的な取組にむけた検討が必要である。</li> <li>2. 基礎学力向上には一定の成果は見られるが、さらにICT活用を進めながら、より効率的で効果的な方法を考え、取り組んでいきたい。</li> <li>3. 特別指導は以前に比べて減少しているが、学習意欲の低下やコミュニケーション不足などによる生徒への支援、配慮が増加した。</li> </ol>
	<p>学校運営等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校のホームページやインスタグラム、鳥羽市の広報の学校情報ページなどを通じて、本校の活動における認知度は上がっているが、さらなる情報発信の方法について、検討していきたい。</li> <li>2. 教員定数減少に伴い、学校全体での仕事量の削減や分掌内で仕事の割り振りを検討する必要がある。</li> </ol>

### 3 中長期的な重点目標

<p>教育活動 【カリキュラム・ポリシー】</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域社会で貢献できる人材育成を目指し、体験的な教育活動を推進</li> <li>2. 生徒一人ひとりの進路実現を目指し、基礎・基本の定着を図る取組を推進</li> <li>3. 自己の生き方・在り方の認識を目指し、自他の理解や良好な人間関係を形成するための人権意識を高める学習活動を推進</li> </ol> <p>&lt;具体的な教育活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 探究活動(産業社会と人間、総合的な探究の時間、鳥羽学)、系列授業、自由選択科目、就業体験実習(観光・福祉)等</li> <li>② 少人数教育、基礎学力診断、基礎学力の定着・向上にむけた勉強会 等</li> <li>③ 人権LHR、部活動、交流、講演 等</li> </ol>
<p>学校運営等</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総合学科ならではの授業内容を中心に、生徒の活躍する姿を学校外へ発信していくことにより、本校の魅力の周知を図る。</li> <li>2. 一人ひとりの成長を支援する為にも、全教職員が子どもに向き合い、組織の目標を共有することや組織のしくみを見直すことで、働きやすい職場づくりに取り組む。</li> </ol>



	<p>(3)スマホやタブレット等のインターネット上での人権侵害について加害者・被害者とならないための正しい知識を身につけ、適切な判断力を身につける</p> <p>【活動指標】</p> <p>①人権教育に関するアンケートを実施（6月）          ②アンケートの基づいた人権学習指導案の作成          ③公開人権LHRの実施(12月)          ④人権講演会を実施(12月)：事後ワークシートの提出率100%</p> <p>【成果指標】（生徒アンケート結果等より）</p> <p>①「具体的な人権課題について理解を深め、相手の立場に立って考えられる」と回答した生徒の割合90%以上          ②「自分自身を大切にし、他者との違いを認め合おうとする気持ちが強くなった」と回答した生徒の割合90%以上          ③「インターネットやSNS等における正しい利用方法を理解し、実践できる」と回答した生徒の割合90%以上</p>		
<p>生徒指導の充実</p>	<p>挨拶の推進。頭髪や服装等、基本的な生活習慣の確保や規範意識・コミュニケーション能力向上の指導を全職員で徹底し、自尊感情を育む声かけを行う</p> <p>【活動指標】</p> <p>①いじめ防止にかかる活動の実施：4月・11月の防止月間          ②制服等の着こなし指導の実施：月1回の頭髪服装指導          ③自分で解決していく力の育成(コミュニケーション能力・交通・防災・防犯)のための、講演会実施：年2回以上          ④昼休みや授業中等の巡回指導：毎日1回</p> <p>【成果指標】(生徒アンケート結果等より)</p> <p>①「基本的な学校生活習慣の定着に向けて、適切な指導が行われている。」と回答した生徒の割合85%以上          ②「健康と安全(交通・防災・防犯など)について、適切な指導が行われている。」と回答した生徒の割合85%以上</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	<p>◎</p>
<p>キャリア教育の充実</p>	<p>(1)生徒一人ひとりが、自らの能力を発揮し、社会に貢献できる進路について、体験的な学習活動等を通して模索し、実現につなげていく</p> <p>(2)「産業社会と人間」、「社会体験実習」等の授業で1年次から系統的に地域の発展について探究活動を行い、それを通して自己のあり方や生き方について考え、主体的に豊かな社会を築く意欲や態度の育成に取り組む</p> <p>【活動指標】</p> <p>①企業・上級学校等と連携した進路ガイダンスの実施：各学年で年1回以上          ②全教員による実践的な面接指導を実施          ③外部講師や鳥羽市等と連携し、起業体験を軸にした産業・経済学習や地域課題解決学習の実施：年間20時間以上</p>		<p>◎</p>

	<p>【成果指標】(生徒アンケート結果等より)</p> <p>①「生徒の進路実現に向けて効果的な指導を行なっている。」と回答した生徒の割合 90%以上</p> <p>②「産業社会と人間」等の授業を通じて、進路や社会参画への意欲向上に繋がった」と回答した生徒の割合 90% 以上</p> <p>③「産業社会と人間」や総合的な探究の時間等を通して、自分の生き方が明確になってきた。」と回答した生徒の割合90%以上</p>	(年度末および 適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>研修・資質 向上の取組</p>	<p>(1)計画的に研究授業を実施する</p> <p>(2)研修等に参加し、様々な情報を得ることで見聞を広げ、教育活動に活用する</p> <p>【活動指標】</p> <p>①研究授業の実施 :年 2 回</p> <p>②校内外の研修に参加 :年 2 回以上</p> <p>【成果指標】</p> <p>①授業力の向上に向けて、研究授業時に、教員間で意見や感想等を交わす場を創出</p> <p>②研修に 2 回以上参加したと回答した教員の割合100%以上</p>	(年度末および 適宜記載)	※
<p>信頼される 学校である ための取組</p>	<p>(1)教職員一人ひとりが不祥事を自分事としてとらえ、その根絶にむけて取り組む</p> <p>(2)教員間で情報共有や意見交換を円滑に行い、風通しの良い職場づくりを図る</p> <p>【活動指標】</p> <p>①学校信頼向上委員会の開催 :年3回以上</p> <p>②コンプライアンスミーティングの実施 :年 3 回以上</p> <p>【成果指標】</p> <p>①教職員満足度調査において「仕事のやりがい」「仕事の楽しさ」の満足度が高いと回答した教員の割合80%以上</p>	(年度末および 適宜記載)	※

<p>情報提供による信頼の構築</p>	<p>学校教育活動の情報発信と広報を拡充する</p> <p>【活動指標】</p> <p>①学校公式インスタの更新 :年 35 回以上                  ②ホームページの更新 :年 12 回以上                  ③学校情報を中学生へ配付 :年 3 回以上                  ④教育活動に関する広報として、鳥羽市民へのちらし配付等 :年2回以上</p> <p>【成果指標】</p> <p>①インスタフォロワー数1100以上(令和8年4月15日現在1029)</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	<p>※</p>
<p>保護者・地域住民との連携</p>	<p>地域行事等への参画を実施する</p> <p>【活動指標】</p> <p>①地域イベントに参加 :20 回以上                  ②地域の小中学校等との交流 :5 回以上</p> <p>【成果指標】</p> <p>①地域からの交流依頼の実現 :年10 回以上</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	<p>※</p>
<p>働きやすい職場環境作り</p>	<p>(1)業務の精選や改善を進める                  (2)総勤務時間の縮減に向け、年次有給休暇等を取得しやすい環境を作る</p> <p>【活動指標】</p> <p>①定時退校日に退校できた教職員の割合 :90%以上                  ②予定通り休養日を実施できた部活動の割合 :100%                  ③放課後に開催した会議のうち 60 分以内に終了した会議の割合 :90%以上</p> <p>【成果指標】</p> <p>①時間外在校等時間が年360時間を超える教職員数 :0 人                  ②時間外在校等時間が 45 時間を超える教職員数の延べ人数 :0 人                  ③1 人当たりの月平均時間外在校等時間 :20 時間以下                  ④1 人当たりの年間休暇取得日数 :10 日以上</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	<p>※</p>
<p>改善課題</p>			
<p>(年度末に記載)</p>			

6 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<p>(年度末に記載)</p>
----------------------------	-----------------

7 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<p>(年度末に記載)</p>
---------------------	-----------------

学校運営について の改善策	(年度末に記載)
------------------	----------